

全国農業

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

新聞

2025年(令和7年)

10月17日 金曜日
月4回金曜日発行

首都圏

「あけぼの大豆」全力投球



① ヴィーガン登録している無添加みそ、② 煎り大豆

【山梨】身延町の特産品「あけぼの大豆」の生産と加工品を約10年前から販売しているのが、「うりぼうの里」の依田哲子さん一家だ。

あけぼの大豆は昼夜の寒暖差が大きく、霧が多く発生する標高300～700mの曙地区で採取した種子を使い、町内で栽培された大豆だ。2022年に県



内農産物で初めてGI登録され、知名度も上昇している。

同町にある久遠寺の宿坊には海外からの観光客が多く訪れ、特にヴィーガン(※)を志向する人が多いことから、うりぼうの里で

身延町の依田さん一家 地元のGI登録作物

は安心して食べてもらうため、煎り大豆と無添加みその2品を日本ベジタリアン協会推奨ヴィーガン商品として登録している。

23年には、同協会主催のベジタリアンライフを楽しめる人物や団体を表彰するベジタリアンアワードの地域活動賞を受賞した。

依田さん一家は「今後も消費者の笑顔とあけぼの大豆の認知度アップに向け、全力で活動していきたい」と語る。



うりぼうの里に関する情報は、二次元コード参照。

※ヴィーガン＝動物由来の食物や服飾品を消費しない人・生活方法。